

プレミアム商品券 公平な事業を 考えているのか？ 特別委員会を傍聴して

10月15日に行われたプレミアム商品券不正販売疑惑を調査する「特別委員会」を傍聴しました。私が券を購入した時、町の担当の方は「お一人様2冊までです」と言われたので、お知らせチラシの通りだなあ、と思って、そのまま2冊買ったのです。まさか、特定の町民には大量に売っていたとは思いませんでした。特別委員会で明らかになった町の回答は「一人1回・・・」にすり替わっていたのです。ある議員さんは「2冊以上欲しかったら、もう一度並べ、と町職員に言われた町民がいる」と発言されました。税金で補助される事業を町が真面目に考えているのか、疑わしくなり、大変不愉快な思いをしました。町長さんが大量に買ったとか、ある議員が何十万円も買ったとかの情報を知っていましたが、特別委員会で真相を明らかにしてほしいと思います。そして、すっきりとウミを出し、だれもが安心して住める町にしなければと思いました。

池寺・松元たけし

第4回特別委員会

とき：10月**28**日（水）夜7時開会
ところ：役場2階会議室
どなたも傍聴できます

甲良民報

2015年10月25日 652号
発行責任：日本共産党甲良町議員団
連絡：甲良町在士463（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

「多くの町民が利用できるように」とは 考えていなかったのでは？

町議会議員の 自主申告を求める

「調査メニューおよび説明事項」の
＝「数十万円を購入した」とされる町
長・議員は自ら真相を語るべき。 に
基づき、第3回特別委員会では議員の自
主申告を下記の4パターンで求めまし
た（阪東議員は欠席）

- 1 = 同居家族含め一人2冊限度で購入した
- 2 = 2冊を超えて購入した
- 3 = 本人は購入しないが他人を介すなど他の方法で2冊以上券を入手した
- 4 = 全く購入していない

その結果、丸山恵二議員と建部議員以外は1と4に該当すると挙手。どのパターンでも挙手しなかった両議員に西澤委員長から状況を確認すると、建部議長は「自主申告なので回答は差し控えさせてもらいます」（要旨）と。丸山恵二副議長は「家族に聞かなければわからないので、確認してから回答します」（要旨）と発言しました。正副議長の今後の対応が注目されます。

「プレミアム券を買いに行こうと思っていたら、もう売り切れていた」「一人2冊までと書いてあるが、ある人には2冊以上売っていた」などの声が寄せられています。今回の調査で、町民へのお知らせチラシにある「お一人様2冊まで」を町が徹底していなかった疑いが、ますます濃くなったことです。町が回答した販売日毎の販売数が、「一人2冊」で換算すると販売日で880人、売り場

を会計室に移した7月21日では298人が購入したことになります。当事業を管轄する産業課長が「一人2冊」と回答しているのに、担当課でもない会計室長が「1回2冊」と繰り返し発言。幹部職員の不一致が露呈。町民には公平に知らされないまま「1回2冊」にすりかえられ「一人2冊」の制限は不要だと話し合われていた疑いが濃くなった形でした。

去る10月15日、プレミアム付商品券交付事業を検証する「第3回特別委員会」が開催され、前回の特別委員会で確認された20の説明事項に対する町の回答を基に質疑・協議が行われ、10人を超える方が傍聴されました。



お知らせ
チラシの一部

みなさんのお声・願いをお待ちしています。 くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123
日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】